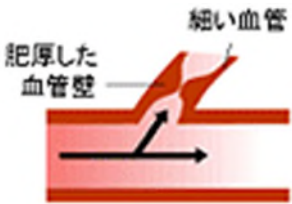
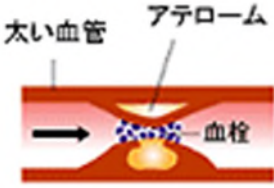
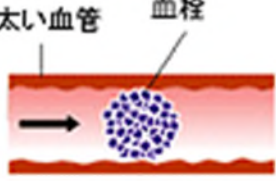
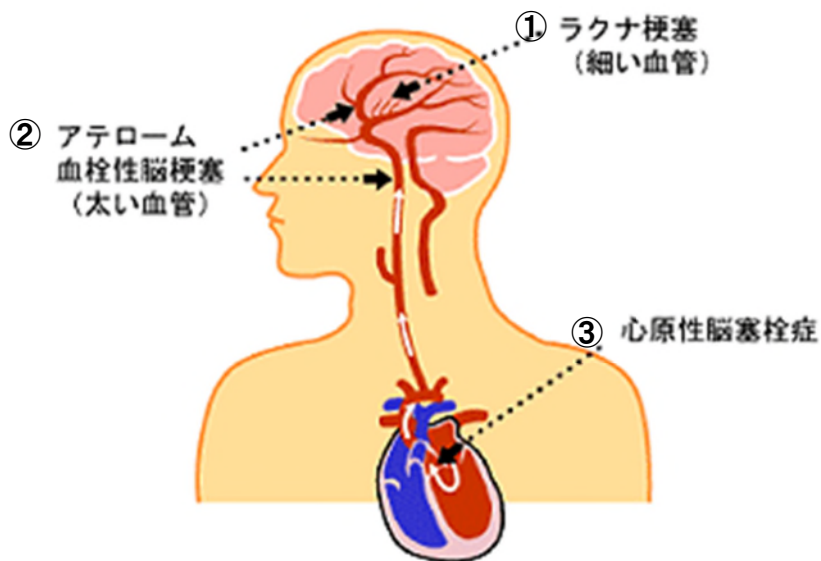


第3話 脳梗塞とかくれ脳梗塞

〈第2話〉では、脳梗塞は血管が詰まる病気だとお話しました。
では脳の血管はなぜ詰まってしまうのでしょうか。

(1)脳梗塞には血管の詰まり方で、3つのタイプがあります。

① ラクナ梗塞	② アテローム血栓性脳梗塞	③ 心原性脳塞栓症
		
脳深部の細い血管の動脈硬化によって、血管が閉塞	頸部や脳表の太い血管の動脈硬化によって血栓が形成	心臓内に形成された血栓が、脳の動脈に飛来し閉塞
危険因子は高血圧	危険因子はタバコ、糖尿病、脂質異常症、高血圧	心房細動が最大の危因子、その他に弁膜症など

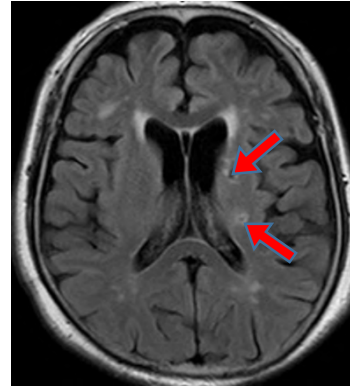


各タイプで危険因子・基礎疾患も異なります。

(2)あなたも「かくれ脳梗塞」かも？

MRI 検査を行うと、ラクナ梗塞が偶然に見つかる場合があります。これを無症候性脳梗塞といい、「かくれ脳梗塞」とよく呼ばれています。

かくれ脳梗塞の MRI



(3)「かくれ脳梗塞」が発見される割合は？

50 歳代～60 歳代で 10～20%前後とも報告され、高血圧の方で多く見つかります。

かくれ脳梗塞は、脳卒中や認知症発症の重大な危険因子です。

(4)かくれ脳梗塞の方に“血液サラサラ薬”が必要な？

手足の麻痺など症状が生じた脳梗塞と、症状のない無症候性脳梗塞の治療は同じではありません。

一度でも症状を生じた脳梗塞に対しては、再発予防のために薬を使用します。しかし「かくれ脳梗塞」への一律の使用は勧められないとされています(2021 年脳卒中治療ガイドライン)。なぜなら、症状のない段階で使用すると、脳出血を起こす危険性の方が、逆に高くなるのが危惧されているからです。

まずは最大の危険因子の血圧を十分にコントロールします。



(6)「かくれ脳梗塞」と言われた方へ

かくれ脳梗塞とよく似た画像所見を、かくれ脳梗塞と誤って診断されている場合も少なくありません。

専門医での診断やセカンドオピニオンをお勧めします。